

令和2年度永瀬清子展示室企画展 第18回おかやま県民文化祭参加事業 **がんばろう 岡山！—復興へ 心つなげて—**

**主催** 赤磐市教育委員会 **後援** 愛知県立明和高等学校同窓会「明和会」

**協力** 三田村博史 愛知県公文書館 愛知県国語教育研究会高等学校部会 オフィスげんぞう 名古屋近代文学史研究会  
名古屋市鶴舞中央図書館 名古屋市中区役所 浜島書店 風媒社 文化のみち二葉館 (順不同・敬称略)



愛知県第一高等女学校校舎  
愛知県立明和高等学校同窓会「明和会」提供



愛知県第一高等女学校跡記念石  
(愛知県名古屋市東区 栄公園内)

# 詩人・永瀬清子誕生

—愛知県第一高等女学校高等科のころ

会期 令和二年九月四日(金)～十一月十五日(日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や延期、内容変更となる場合があります。  
会場内ではマスクの着用や手指の消毒等、感染予防策にご協力をお願いいたします。  
発熱等の症状がある場合や、ご体調がすぐれない場合は、ご来館をお控えください。

## 企画展関連行事 岡山県生涯学習大学連携講座

### 講演「私の出会った丸山薫と永瀬清子」

永瀬清子と親交をもち、愛知大学で詩人・丸山薫と同僚となり『丸山薫全集』の資料担当であった、<sup>モウ</sup> 齋わたる(下河部行輝)先生にお話しいただきます。

**講師** <sup>モウ</sup> 齋わたる先生(岡山大学名誉教授・詩人)

**日時** 令和2年9月27日(日) 午後1時30分～3時

**場所** 赤磐市くまやまふれあいセンター第1会議室

**参加費** 無料(要事前電話申込)

**定員** 20人(先着順)

**申込開始日** 令和2年8月4日(火) ※申し込みは下記まで

**時間** 午前9時～午後5時  
**休館日** 月曜日 **入館料** 無料

**場所** 永瀬清子展示室  
(赤磐市くまやまふれあいセンター2階  
・岡山県赤磐市松木621-1)

※赤磐市立中央図書館1階の歴史コーナーで、本展示の資料等の一部を複製し展示しています。

#### ◆交通案内



◇ 山陽自動車道  
山陽・和気ICから車で約15分  
◇ JR赤磐山駅から徒歩約20分

企画展・講演会・永瀬清子についての

問い合わせ・申し込み先 赤磐市教育委員会熊山分室 tel **086-995-1360**

U R L <http://www.city.akaiwa.lg.jp>

永瀬清子展示室

検索



愛知県第一高等女学校高等科の頃の永瀬清子と妹・澄子清子（写真左）と次女・澄子（写真右）は、県一高女の高等科英語部で学び、三女・妙子は本科で学んだ。



愛知県立第一高等女学校全景と小林校長「桜の会給茶書」（愛知県立第一高等女学校和楽会）より  
愛知県立明和高等学校同志会「明和会」提供



愛知県第一高等女学校高等科卒業証書

永瀬清子は、十七歳のとき『上田敏詩集』を読んで詩人を目指しました。そして詩を書くためには英語を学びたいと願い、新設された愛知県第一高等女学校高等科英語部（現・愛知県立明和高等学校）に進学することができたのです。この学校で岡山県出身の歌人・石井直三郎や夏目漱石の高弟で英文学者の中川芳太郎など優れた教員の指導を受けたことは、詩人・永瀬清子の礎となりました。この展示では、愛知県第一高等女学校高等科のころの永瀬清子をご紹介します。

**校名の変遷と高等科について**

- 一九〇三年三月 愛知県立高等女学校開校
- 一九一五年四月 愛知県立第一高等女学校と改称
- 一九二二年五月 愛知県第一高等女学校と改称
- 一九二四年四月 高等科設置（修業年限三か年）
- 一九四七年三月 高等科終結
- 一九四八年三月 愛知県第一高等女学校終結
- 四月 学制改革により愛知県立第一女子高等学校発足
- 愛知県立明倫高等学校との統合により愛知県立明和高等学校設置

↓ 清子入学



『あゆら』第4号 第18巻第3号（4月号）  
愛知県第一高等女学校和楽会  
1924（大正13）年4月  
愛知県立明和高等学校同志会「明和会」提供



『かみ』第4号  
愛知県第一高等女学校校友会  
1924（大正13）年12月  
愛知県立明和高等学校同志会「明和会」提供  
清子が投稿した散文「感傷についての一考察」が掲載された。



「新築落成祝賀記念給茶書（3枚1組）」  
愛知県立高等女学校校友会  
1910（明治43）年12月1日  
愛知県立明和高等学校同志会「明和会」提供

愛知県と永瀬清子のゆかりについて、もっと知りたい方の参考図書（刊行順）



愛知県史編さん委員会編  
『愛知県史 資料編35 近代12文化』  
愛知県 2012（平成24）年3月  
愛知県公文書館 所蔵  
清子が県一高女高等科在学中に投稿した散文「感傷についての一考察」を新発見資料として収録。



三田村博史『東海の文学風土記』  
中日新聞社 2015（平成27）年12月  
三田村博史 提供  
中日新聞夕刊の連載を書籍化。名古屋市東区に暮らし、県一高女高等科に在学していた頃の清子を紹介。



溝口常俊編『古地図で楽しむ尾張』  
風媒社 2017（平成29）年1月  
山下達治氏の「永瀬清子と広小路ライオン喫茶店」収録。詩「春になればうぐいすと同じに」に描かれた大正末の名古屋と詩人を志したころの清子を紹介。



愛知県国語教育研究会高等学校部会編著  
『あいち文学散歩』発行所 浜島書店  
2019（令和元）年5月改訂版  
提供 愛知県国語教育研究会高等学校部会  
浜島書店 文化のみち二葉館  
愛知県立明和高等学校ゆかりの文学者として巻頭カラーで清子を紹介。